

ひまわり在宅サポートグループ

渡部 峯子(大崎訪問看護ステーション 所長)

功 績 平成10年、5名の看護師で始まったひまわり訪問看護ステーションを、初代管理者として支え続け、現在の180名を超える組織へと発展させた。現場業務を担いながらスタッフ育成に尽力し、令和3年に勇退予定を返上して仙台・大崎の管理者育成にも5年間従事し、組織基盤強化に大きく貢献した功績。

推薦者氏名 阿部まなみ(所長)

推薦理由 創成期から現在まで、訪問看護の発展と組織の成長に献身的に尽くされ、管理者育成や現場支援を通じて多くのスタッフを導いてきた。責任感と情熱を持ち、常に組織と仲間の未来を考えて行動する姿勢は、理事長賞にふさわしい功績である。

内 容

渡部峯子所長は、訪問看護の認知度が低かった創成期から、地域の医療機関や行政へ積極的に働きかけ、訪問看護の必要性を広める礎を築いた存在である。平成10年、5名の看護師で始まったひまわり訪問看護ステーションにおいて初代管理者を務め、現場業務と組織運営を両立しながら、多くのスタッフを精神面や、質のケア向上において支え続けてきた。現在180名を超える大きな組織へと成長した背景には、所長の柔軟さ、誠実さ、そして情熱があった。

令和3年に勇退予定であったにもかかわらず、新たな拠点の管理者育成の必要性を受け、仙台・大崎の訪問看護ステーションの管理者として5年間にわたり育成と運営支援に尽力した。片道40kmを超える通勤を、雨の日も雪の日も続け、責任を事業所の管理者一人に背負わせまいとする姿勢は、まさに「小さな巨人」と呼ぶにふさわしい。

時に誤解されるほど真っ直ぐで情熱的な言動も、その根底には常に「ひまわりの未来」と「スタッフの成長」を思う強い信念がある。訪問看護の制度変遷をともに乗り越え、困難な場面では必ず相談に乗り、課題解決に寄り添ってくれた存在である。